

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

2026/ /

協議会名: 北海道宗谷地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
沿岸バス株式会社	幌延留萌線	関係市町村等と協議を行い、地域住民から寄せられている意見や要望を把握し、適切に対応することで利便性向上につとめた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 地域間幹線系統路線の乗客数増加などにより、公共交通の利用者数は目標「400千人以上」に対し「407千人」となった。  燃料費、人件費などの上昇に伴う経常費用の増加により、公的資金が投入されている公共交通の収支率は目標「39.3%以上」に対し「35.7%」となった。	沿線市町村の利用のニーズを反映させつつも、持続可能な生活交通とするため、今後も継続的に関係自治体と協議を行い、必要に応じてルートや運行回数等の見直しを行い、路線の効率化と改善を図る。
宗谷バス株式会社	稚内鬼志別	沿線自治体と協議し、持続可能な運行体系の構築に取り組んだ。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 燃料費、人件費などの上昇に伴う経常費用の増加により、公的資金投入額は目標「214,091千円以下」に対し「252,133千円」であった。	沿線市町村の利用者のニーズを反映させつつも、持続可能な生活交通とするため、必要に応じてルートや運行回数等を見直し、運行の効率化を図る。